

裏面白紙

丙
一三二七

立案 昭和十五年二月七日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長



宗秩寮總裁



宮内事務官

故 弘世正二郎位記追賜，件

昭和十五年二月五日裁可一月廿一日達
臺帳記入二月七日官報報告濟

三十三
89
86

宮内省

236



故弘世正二郎位記追賜ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十三年二月五日

内閣總理大臣公爵近衛文磨



内閣

大正第二九號

起案 昭和十三年二月五日

裁可 昭和十三年二月六日 施行 昭和

年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官



本件ハ特ニ急ヲ要シ候
發令方取計ハレ度

故弘世正二郎ハ別紙大藏大臣稟請
ノ通功績顯著ナル者ニ候處客月三
十一日死去ノ趣ニ付特旨ヲ以テ左ノ通
位記追賜ノ件上奏相成然ルヘシ

故 弘世正二郎

内閣

特旨ヲ以テ位記ヲ追賜セラル

弘世正二郎

敘從六位

一月三十一日付

大正第二九號

案起

昭和十三年二月五日

裁可

昭和十三年二月六日

施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

内閣書記官

内閣書記官

本件ハ特ニ急ヲ要シ候ニ付至急
發令方取計ハレ度
内閣

故弘世正二郎ハ別紙大藏大臣稟請
ノ通功績顯著ナル者ニ候處客月三
十一日死去ノ趣ニ付特旨ヲ以テ左ノ通
位記追賜ノ件上奏相成然ルヘシ

故 弘世正二郎

内閣

特旨ヲ以テ位記ヲ追賜セラル

弘世正二郎

敘從六位

一月三十一日付

238

内閣 大臣 第九号

職田第一七四号

故日本勸業銀行參與理事 弘 世 正二郎

右者資性眞摯重厚ニシテ穩健着實、明治三十二年東京帝國大學法科
大學政治科ヲ卒業シ直チニ大藏省ニ職ヲ奉シ同三十六年九月大阪府
農工銀行顧問ヲ囑託セラレ同三十七年一月同行取締役同年二月同行
常務取締役トナリ大正六年七月同行頭取ニ就任シ昭和十二年三月同
行カ國策ニ順應シ日本勸業銀行ニ合併セララル迄在職シ尙引續キ昭
和十二年三月日本勸業銀行顧問トナリ同年五月同行參與理事ニ就任
今日ニ至レリ
斯クノ如ク同人ハ多年ニ亘リ大阪府農工銀行及日本勸業銀行ノ重役

大藏省

規格 18.5 (12.8, 小川納)

239

裏面白紙

トシテ其ノ要職ニ在リ平素精勵恪勤同行内容ノ向上及業務ノ發展ニ
努力シ且本邦不動産金融ノ發達ニ貢獻セル所多大ナルモノアリ
殊ニ其ノ在任中大正九年ノ財界反動大正十二年ノ關東大震火災昭和
二年ノ財界恐慌等我國經濟界極メテ多事多難ノ時ニ際會セシカ同人
ハ大阪府農工銀行頭取トシテ克ク其ノ使命ヲ全フシ地方財界ノ安定
ニ努力シ其ノ功績尠カラサルモノアリ
尙同人ハ德望極メテ高カリシカハ世間ヨリノ信用ヲ博シ三十三年ノ
永キニ亘リ大阪府農工銀行常務取締役又ハ頭取トシテ在任シ其ノ間
常ニ同府下農山漁村ノ發展ニ意ヲ用ヒ金融ノ圓滑ヲ計リ地方金融界
ノ發達并ニ農山漁村ノ開發ニ貢獻シタル功勞尠ナカラス

裏面白紙

然ルニ同人ハ病ヲ得テ遂ニ去ル一月三十一日死亡致候就テハ生前ノ
功勞ヲ録セラレ特ニ相當位階追賜ノ御詮議相成度別紙大阪府知事内
申書相添此段及申牒候也

昭和十三年二月五日

大藏大臣 賀屋 興 宣



内閣總理大臣公爵 近衛 文 麿 殿

大藏省

規格 B.5 (12.8.小川納)

24 1/2

人秘第 三二 號

昭和十三年二月三日

大阪府知事 池田

清

大藏大臣 賀屋 興 宣 殿

大藏大臣 賀屋 興 宣 殿

叙位叙勳ノ件内申

兵庫縣武庫郡御影町大字郡家字垣内二八三番地

弘 世 正 二 郎

右ハ別紙功績調書ノ通資性眞摯重厚ニシテ穩健着實明治三十二年東京帝國大學法科大學政治科卒業後大藏省主税局理財局等ニ勤メシカ
 同三十六年大阪農工銀行顧問ヲ囑託セラレ翌年同行取締役ヲ尋常務
 取締役トナリ四期十三箇年勤績更ニ衆望ヲ聚メテ大正六年同行頭取
 ニ就キテ六期二十一箇年ニ及リ昭和十二年三月同行ノ日本勸業銀
 行トノ合併ニ依リテ退職シタルモ尙同行參與理事ニ就キテ盡瘁セル
 等實ニ三十六箇年ノ久シキ終始我國銀行業界ノ進展ニ貢獻シタル功
 績洵ニ顯著ナルモノ有之候處去ル一月三十一日死去シタルニ依リ生
 前ノ功績ヲ錄セラレ特別ノ御詮議ヲ以テ相當ノ叙位叙勳方御取計相
 煩度此段及内申候也

大 阪 府

秘書課 13.2.4 第 號

291/2

功績調書

一、本籍 大阪市北區絹笠町一〇番地

一、住所 兵庫縣武庫郡御影町大字郡家字垣内二八三番地

弘世正二郎

明治七年十月二十六日生

一、性行 資性真摯 重厚ニシテ人格識見共ニ秀ダ

事ニ當リテハ穩健著實ヲ旨トシテ精勵

大阪府

恪勤ニ終始ス 徳望至ツテ高シ

一、事績

弘世正二郎 明治七年十月 弘世助三郎ノ二男カトシテ茲

賀縣彦根市ニ生ル(同人ノ兄故弘世助太郎ハ我が國

生命保險業界ニ盡瘁セシ功績ノ多大ナルモノアリシ

ハ世間周知ノ事ナリ) 今人ハ明治三十三年東京帝

國大學法科大學政治科卒業後直ニ大藏省ニ

入り事務見習ノタメ横濱税関ニ勤務シ後本省
ニ轉ジ主税局及理財局ニ勤務スルコト四ヶ年餘ニ及
ビシガ時恰モ大阪農工銀行ノ業務停頓シ一大整理
ヲ要スル時ナリシヲ以テ明若三十六年九月時ノ大藏
次官阪谷芳郎等ノ推薦ニ依リテ大阪農工
銀行顧問ヲ囑託セラレシガ其ノ精緻明敏ナル識
見ト卓越非凡ナル手腕ヲ認めラレ今三十七年一月
三十一歳ニシテ全行取締役トナリ更ニ其ノ翌月全行
常務取締役ニ就ク爾來精勵恪勤全行ノ内容
整理ニ業運ノ發展ニ盡瘁スルコト四期十三年遂
ニ業界ノ聲望ヲ一身ニ取メテ大正六年七月全行頭
取ノ要職ニ就ク茲ニ於テカ今人ハ愈ニ精勵恪勤ス
ルト共ニ堅刃心自重一意同行ノ敏系榮ニ専念シ年
ト共ニ其ノ盛大ヲ見ルニ至ラシメタリノ然レ共昭

大阪府

和十二年三月國策ニ順應シテ全行ノ日本勸業銀行
ト合併サル、ヤ職ヲ退キテ直ニ全行大阪地方顧問
ニ任命セラレ後更ニ全行參與理事ニ就キテ貢獻
スル所多大ナルモノアル等實ニ三十六年ノ久シキ大
阪財界ノ重鎮トシテ我國金融業界ノ圓滿ナル發
展ニ寄與セシ所洵ニ顯著ナルモノアリ
又全人ハ徹底セル一人一業主義ニ終始セルモノナル
カ大阪農工銀行頭取當時ヨリ日本生命保險株
式會社取締役ニ推サレテ保險業界ニ盡瘁セシ
所亦鮮ナカラズ

大阪府

履歷書

本籍 大阪市北區絹笠十番地
住所 兵庫縣武庫郡御影町大字郡家字垣内二百八十三番地

弘世正二郎

明治七年十月二十六日生

- 一、明治三十二年東京帝國大學法科大學政治科卒業
- 一、今 年大藏省主稅局及理財局ニ勤務ス
- 一、今三十六年九月大阪農工銀行顧問ヲ囑託セラル
- 一、今三十七年一月同銀行取締役ニ就任ス
- 一、今 年二月同銀行常務取締役ニ就任ス
- 一、大正六年七月同銀行頭取ニ就任シ昭和十二年三月ニ至ル
- 一、昭和十二年二月日本生命保險株式會社取締役ニ就任ス
- 一、今 年三月日本勸業銀行大阪府地方顧問ヲ命ゼラル
- 一、昭和十二年五月日本勸業銀行參與理事ニ就任ス

大阪府

以上

立案 昭和十三年二月六日
決裁 昭和十三年 月 日

宣旨高等官

案

特旨ヲ以テ位記ヲ追賜セラルル昭和三十二年二月六日
故 弘世正二郎
叙從六位
昭和三十二年一月三十日

宮内省

右之通本旨 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十三年 二月 六日

宗秩寮總裁

大藏大臣

裏面白紙

二號昇紙

249

一七九
一三三
七
信許
一故弘世正三郎

右位記竝辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

昭和十三年三月七日

宗秩寮總裁子爵 武者小路公共

大藏大臣

宮内省

礼

一 昭和十三年十月十日

上奏

文位第二〇 狛

一同

同

文位第二四 狛

一同

同

文位第一二 狛

右例文位以下十身附礼通教位傳達清

丙 四九

丙 八二八

一 内閣理事官正六位勲五等依野山門外一名

丙 四六

丙 八二九

内閣書記官長

一 大藏書記官正六位植木庚子部外百二名

丙 四七

丙 八三〇

大藏大臣

一 海軍技師正六位西原貞外四十五名

丙 四八

丙 八三一

海軍大臣

一 東京帝國大學教授正四位勲三等八木精一外百四十四名

宮内省

丙 四九

丙 八三二

文部大臣

一 鐵道省事務官正六位菱名惣太郎外六十八名

丙 五〇

丙 八三三

鐵道大臣

一 内閣印刷局理事官正六位勲六等村上京輔外二名

丙 五一

丙 八三四

内閣印刷局長

一 企畫院事務官正六位准一等外一名

丙 五二

丙 八三五

企畫院總裁

一 教從六位 法制局参事官正七位官内乾

丙 五三

丙 八三六

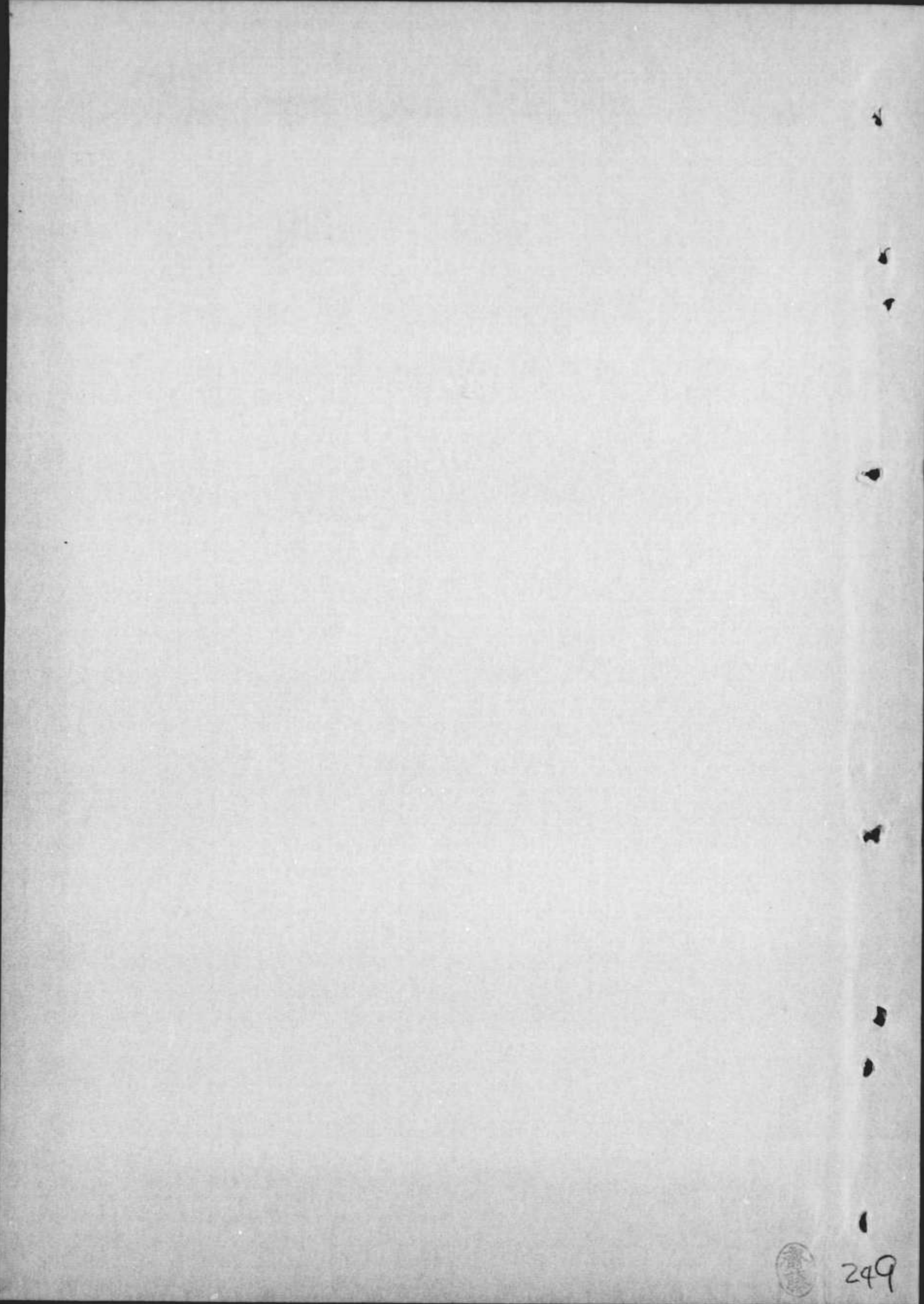
法制局長官

一 教從五位皇族院書記官正六位勲六等近藤英明

丙 五四

丙 八三七

皇族院書記官長



249

